

第1回 学校運営協議会 記録

日 時 令和7年6月8日（日） 午後2時45分～4時45分

場 所 浜松湖北高等学校佐久間分校応接室

出席者 委員（敬称略） 月花明生、坪井俊介、大見拳也、高橋恵子

学校 新井淳一校長、橋本徳一副校長、長谷川竜一教頭

【開会】

- 1 校長挨拶
- 2 学校運営協議会説明〔事務局〕
- 3 委員任命及び自己紹介
- 4 会長及び副会長選出

会 長 月花明生 委員

副会長 坪井俊介 委員

- 5 議事1 会議成立 委員4人／4人出席

ア 佐久間分校の近況報告

〔事務局説明〕佐久間分校の近況について

《委員質問・意見》

・生徒募集について浜松市議会便りに佐久間分校生徒募集への予算措置の記事が掲載された。分校の存続が話題になっている。発表はいつ頃か。

（事務局） 県立高校全体の募集については7月初旬までに示される。佐久間分校については未だ発表はない。

・本年度の入学生を見ると浜松市からの入学生が多い。佐久間分校のニーズが広がっているということだろう。できれば早めに情報提供してほしい。

・全国募集が始まったとき、ぜひ力を入れてほしいのは「豊橋市」。沿線の高校などとの差別化を図り、魅力作りに努めてほしい。

・地域学の授業で来月、「古民家お茶会」を予定。地元に解放しているのでぜひ活用してほしい。

イ 学校経営計画「目指す学校像」の承認

〔事務局説明〕 学校経営計画「目指す学校像」について

・「北遠地域」とあるので、その地域の中学校にもっと注目してほしい。天竜区も含む対象の地域にもっと焦点を当てて欲しい。

・教職員が生き生き働く学校であってほしい。(1)「スクールポリシー」の中に、「先生が生き生き働く姿」の文言を入れてもよい。

・寮の運営についてはどんな様子か？

(事務局) 現状を報告。県内に寮は川根高校生が使えるものがある。ただ、高校が運営する形の寮ではない。

・一人暮らしは良い経験になる。そのメリットをもっと前面に出したら学校の特色になる。

・寮出身の生徒は今日の文化祭も来場している。とても良い生活の場だと言える。

《委員承認手続き》⇒ 承認

6 文化祭見学 (エンディング)

7 議事2

ア 意見交換

・見慣れない制服の中学生がいた。地域外の中学生か。

(事務局) 確認しないとわからないが、興味をもっている中学生がいることは興味深い。募集を拡大することも大事である。しかし、一方で、地元の子を大切にしている学校であってほしい気持ちが地元にあるのではないか。

・佐久間地区の中学生も逆に地域外へ出てしまう。理由は「やりたいこと(部活等)ができない」などのようだ。

・外へ出ていく理由として「進学」を理由に選ぶ生徒もいるのだろうか。

・実際にいる。他地域の高校へ通う例もある。

・一家で転出して地域外の高校へ通う子がいると聞いた。個別に対応してくれる佐久間分校の大学進学率はじつは高い。佐久間分校へ進学するメリットは大きいことを地元の中学校にわかってもらいたい。進学を理由に転出する地元の中学生に分校の進学率を理解してもらいたい。

- ・社会として、高校の選択肢を多く用意してあげることが大事。地域外の中학생にとっても佐久間分校が選択肢であるというのがあるべき姿。また、佐久間の子にとって、地域外からの多くの子と接することも大事。
- ・佐久間分校が核となり、佐久間の教育環境に憧れて入学する生徒が増える。結果、佐久間の人口が増えるという姿が理想。
- ・今は逆の流れがある。市街地に出たほうが選択肢を持てるという考えが地元にある。
- ・勉強に関しては、佐久間分校には優れた環境があるのは確かである。
- ・今日初めて佐久間分校に入った。文化祭の様子を見ると、素敵な生徒たち。今後古民家を通して素敵な生徒と接するのが楽しみ。古民家を通じて地域との交流が持ちたいようであれば、どんどん活用してもらいたい。

【閉会】